

# 条例理論の基礎

原島良成 著  
北村喜宣・山口道昭・出石 稔 編

## 担当編集から

地方自治・実務入門シリーズの最後を飾るのが本書です。本書は、地方自治の要である条例をテーマに、条例に関する一般理論の提示を目指すものです。いわゆる「乾杯条例」のような具体的な条例も素材にしつつ、条例は何をどこまで規律できるのか、条例を実効性あるものとするにはどのようにしたらよいか等を解説しています。このように書くとハードルの高さを感じる方が多いかもしれませんが、条例を使いこなし、豊かな自治体行政を実現するうえで必ず役に立つであろう内容を、平易に説くものとなっています。将来、自治体行政に携わろうと考えている方、現在携わっていらっしゃる方には一読をお勧めします。あわせて、同シリーズの既刊書籍（『福祉行政の基礎』『自治体コンプライアンスの基礎』『自治体災害対策の基礎』『自治体環境行政の基礎』『自治体財務会計の基礎』）も、ご関心に応じ、是非手にとってみてください。（Y）

## Point

自治体行政の基礎力を培うのに適した一冊です。

## 第一章 立法の分権

- 一 条例に期待される役割／二 日本国憲法における「立法」／三 日本国憲法における「法律」／四 憲法の法治主義／第一章を振り返る

## 第二章 条例の存在形態

- 一 条例の伝統的分類／二 存在形態による分類／三 従属条例の存在意義／四 組織・運営に関する条例／第二章を振り返る

## 第三章 条例で「何を」「どこまで」規律できるのか

- 一 独立条例の規制実現手法／二 独立条例の規制対象／三 政省令による条例規制程度の統制／四 法律による条例規制程度の統制

## 第四章 自治立法の現状把握

- 一 条例の「法」としての存在感／二 自治立法の構造モデル／三 規制を体系化する基幹的条例／四 条例制定の政治を包む法理論

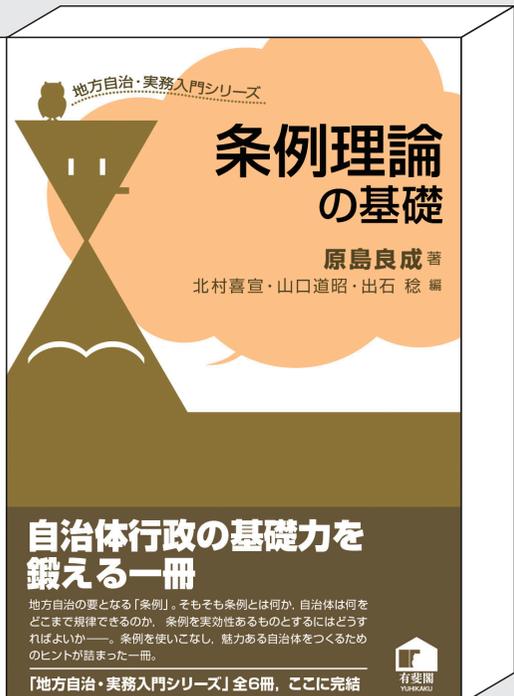
## 第五章 条例の実効性

- 一 法律・条例の実効性概説／二 行政代執行の抑制・促進要素／三 独立条例に基づく義務の行政代執行／四 独立条例の実効性（不作為義務を中心に）

## 第六章 条例とは何か

- 一 恋愛禁止条例の世界／二 自治基本条例の世界／三 条例主義の本質／四 自治立法の責任

## 用語解説



レベル — 用途 —  
中級 学習 実務

2025年7月発売／232頁／定価2530円(税込)  
四六判／並製



BOOK INFORMATION

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

